初期設定

● フライト環境に変更があった場合、天候が変わった場合（早朝、昼、夕方等、気温の変化時）、別の機体に載せ替えた場合など下記の設定方法を参照して初期設定を行ってください。

● 初期設定後、オートパイロットには飛行条件が設定され保存されます。
飛行条件が変化しなければ再設定する必要はありません。

1、機体をフライトエリアに運んでください。

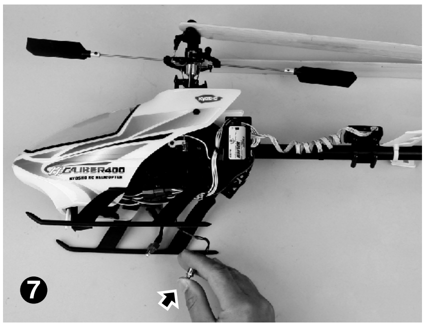
2、送信機のスイッチをいれ、次に機体のスイッチを入れてください。

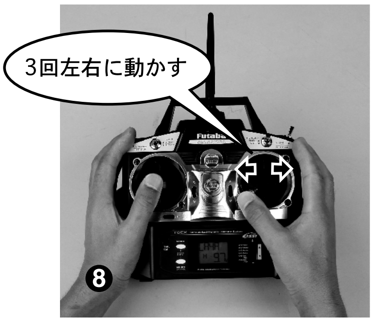
3、機体を横に向け、初期設定スイッチを数秒押してください。
（この際、地上と空中の温度差を読み込んでいます。）（写真 ❼ ）

4、2秒後にエルロンサーボとエレベーターサーボが数回動きます。動いた回数が地上と空中の温度差を表しています。
3〜10回：オートパイロットの機能が十分に発揮されます。
1〜2回：オートパイロットの機能が十分に発揮されません。
フライト環境を変えるか、コントローラーのボリュームをオフ（反時計回りに終わりまで回す）にしてフライトしてください。

5、エルロンサーボとエレベーターサーボがゆっくり動きます。
その状態で機体を水平に戻し3m離れてください。

6、送信機のエルロンを最スローの状態で最左から最右に3回動かしてください。
サーボの動きが止まり、初期設定終了です。（写真 ❽ ）

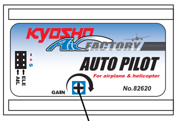




フライト調整

1、コントローラーのボリュームをオフ（反時計回りに終わりまで回す）にします。
機体をフライトさせトリム調整を行ってください。

2、トリム調整後、コントローラーのボリュームを時計方向に回しながら感度調整を行ってください。
（一気に感度は上げず、10％程度から少しずつ様子を見ながら感度を上げてください。）
感度調整後、障害物がある場合はトリムずれを起こす場合がありますので再度トリム調整を行ってください。



ボリューム

> ⚠ **注意**
> 障害物がある場合はトリム調整をした機首の向き（例えば北向き）から向きが変わった時（例えば東向き）にトリムずれを起こす場合があります。